


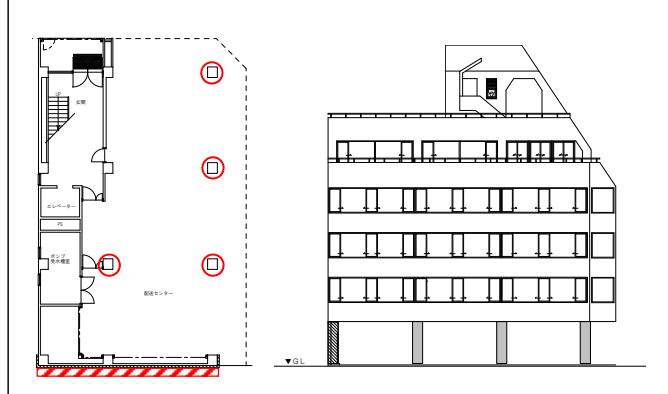
SRF 工法による集合住宅の耐震補強工事事例

<p><b>物件概要</b></p> <p>所在地：東京都千代田区外神田                  建築用途：事務所                  階数：地上5階、塔屋1階                  延床：1152.68㎡                  構造：鉄筋コンクリート造                  竣工：1977年（昭和52年）</p>	<p><b>工事概要</b></p> <p>補強内容：SRF 柱補強 21 本                  SRF 壁補強 2 枚                  構造スリット 11 箇所                  仕上げ：モルタル+塗装(外部)、PB+塗装(内部)                  工期：2012年8月10日～8月19日                  設計：構造品質保証研究所                  施工：SRF 建設株式会社</p>
--	---

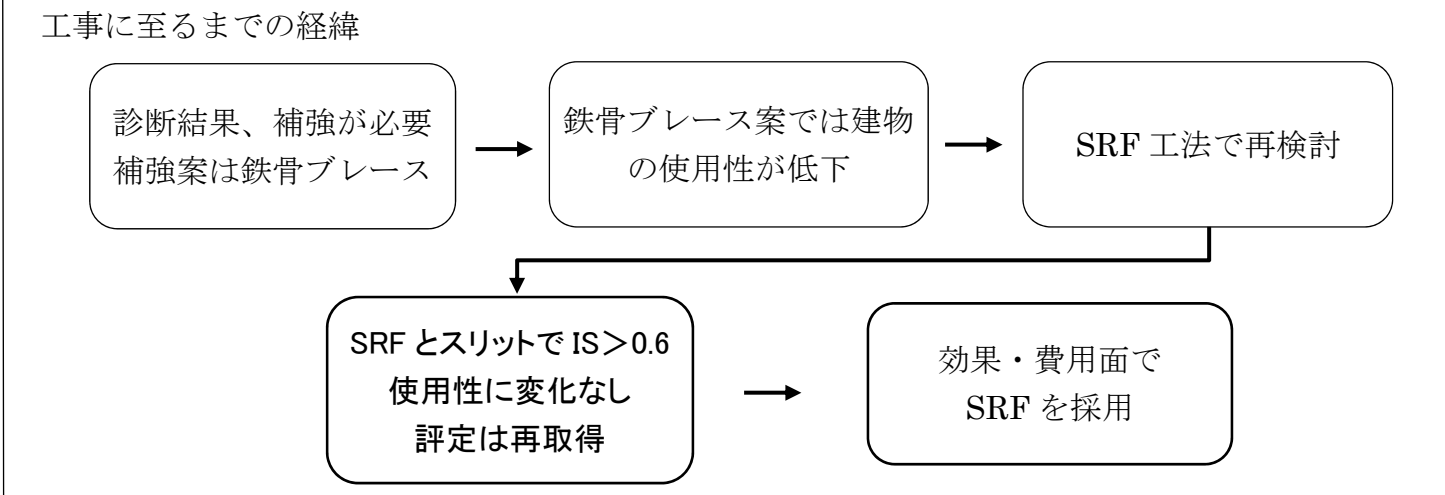
**外観写真**



**図面**

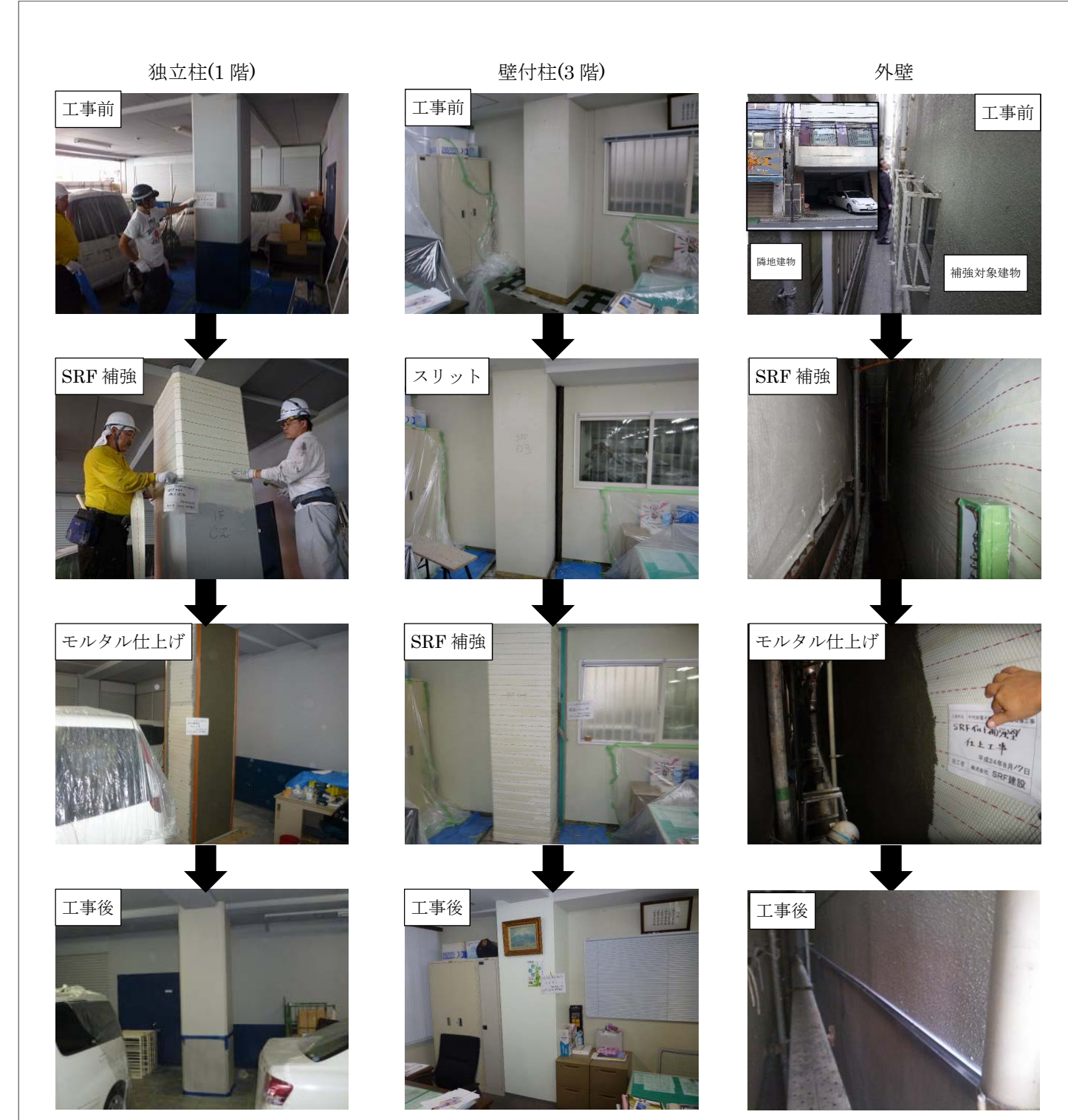


1階平面図



**工程表**

日曜日	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水
仮設工事			養生									清掃			
内装解体			パーティション撤去												
外装解体				モルタル新											
SRF 補強工事															
耐震スリット															
内装工事									柱ボード復旧(内部柱)						
左官工事									モルタル仕上げ(外部柱、壁)						
塗装工事									柱塗装(壁は別途工事)						



**効果**

- ブレースによる補強が提案されていたが、執務スペース内への設置が必要で、使用性が損なわれるため工事が実施できなかった。診断結果を見直し、SRF を用いて再設計したところ、SRF とスリットのみで  $I_s > 0.6$  となった。SRF とスリットであれば部屋の使用性が損なわれないため、工事が実施された
- 事務所の夏季休業期間中のみで工事が完了したため、業務に支障をきたすようなことはなかった
- 工事費に再設計費用を加えても、当初のブレース案の工事費より安く済ませることができた
- 改修設計の評定も再度取得し、東京都から耐震マークも公布された